

<資料> 具体的な研修内容

●看護技術

- ・すぐに役立つ看護技術
- ・採血、点滴管理
- ・採血、ルート留置技術
- ・点滴や治療について
- ・採血（同回答 13 件）
- ・注射の研修（派遣の登録ナースとして勤務を検討しているので）
- ・電子カルテ 採血 静脈注射 皮下注射
- ・採血などの看護技術や輸液ポンプなどの使い方
- ・注射、採血、傷の手当てなど
- ・胃瘻、気切等
- ・採血 点滴（同回答 11 件）
- ・小児看護 採血研修 ルート確保研修
- ・基礎看護技術研修を受けたいです。身体の使い方（腰を痛めた事があるため）や採血など基本的な技術が未熟な為勉強したいと思っています。
- ・リンパ浮腫について、救急対応について
- ・採血・点滴静脈注射・輸液ポンプ等の手技演習、心電図の付け方、見方など。
- ・採血などの看護技術を思い出したい
- ・現在の褥瘡治療処置技術について
- ・基礎看護技術（注射、採血、導尿、ストマケア、褥瘡ケア）、急変時の対応、完全予防策
- ・採血、ルートキープ技術
- ・模型でない採血、サーフロー留置
- ・点滴、吸引などの手技
- ・病棟で必要な技術、CV カテ挿入の際の準備や介助など手順など使える技術知識をまとめて指導して欲しい。
- ・採血や点滴ルート確保の技術練習
- ・採血、夜勤
- ・採血、ルート確保
- ・様々な場面での看護技術の研修を希望します。
- ・日常生活援助に係る看護技術やフィジカルアセスメント
- ・輸液 輸血についての研修
- ・採血 点滴血管確保
- ・看護技術の演習(採血、ルート確保、バルーン挿入等)
- ・注射関連
- ・採血、心電図、点滴管理等、基本的な技術を再確認したい
- ・採血、注射、点滴
- ・手技
- ・ルート確保、心電図、内視鏡などすぐに使える技術の習得
- ・難しい血管の採血や点滴の手技
- ・基本的な看護技術
- ・急変時の対応
- ・とくに採血、点滴、医療機器

- ・真空採血管の採血
- ・注射、点滴、吸引などの看護技術
- ・採血、末梢静脈ルート留置、内視鏡
- ・看護技術をもう一度学び直したいです。
- ・フットケア等、高齢者に予防的に活用できる必要な技術。
- ・採血、サーフロー留置等の技術、昼間時間帯で(10時～14時位の時間帯で)して欲しいです。
- ・留置針を入れる実技研修を在職中の人でも受講できるようにして欲しい。自分の若い頃は入れる機会がなかった、これさえ身につけば病棟に戻れるのと思う。
- ・点滴、注射、導尿など
- ・採血・点滴留置の実技練習
- ・静脈注射、点滴の手技
- ・ルート確保と輸液ポンプ
- ・点滴、注射
- ・色々な採血方法。実践で役立つ心電図の見方。実践で役立つ、よくみられる呼吸音や心拍を聞く。
- ・ルート確保
- ・採血、静脈のルートキープ、など
- ・採血 心電図 12誘導
- ・あるかも知れないですが、採血や吸たん、救急時の対応等のビデオ(映像)が気軽にナースセンターで見られることを希望したいです。
- ・急変時の対応
- ・点滴業務
- ・ルート確保、採血実習
- ・看護処置全般、疾患についての基礎知識
- ・採血、点滴などの看護技術確認
- ・点滴留置 採血
- ・採血、静脈注射、点滴留置の実技研修
- ・サーフロー針で点滴、吸引、導尿、胃管挿入
- ・採血などの手技、医学知識、感染対策、
- ・看護技術
- ・広尾病院での点滴、採血などの研修をしたい。
- ・採血、点滴ルート確保、急変時対応の研修があれば嬉しいです
- ・点滴
- ・点滴技術
- ・注射
- ・点滴や注射
- ・採血や注射があればその技術
- ・看護師特定行為研修
- ・基本的な技術の振り返りと、よくある困ったパターンの対応の一例などが知りたいです
- ・リハビリやポジショニング(様々な場面、状況における)について
- ・病院で勤務させていただきたい気持ちはありますが、採血・注射等に不安があり、現場は忙しく即戦力でないと難しいので、手技をお願いしたいと思います。
- ・採血や心電図、基本的な手技の振り返り

- ・採血、ルート確保、心電図、内視鏡などの看護技術手技の研修
- ・何年も注射の手技をしていないので筋肉注射や皮下注射の実践を学びたい
- ・痛くない注射の仕方
- ・具体的な医療的ケア
- ・点滴の研修(大学病院で点滴は看護師ではなく医師の仕事だった時に勤務し点滴の技術を取得しないまま今に至るため)
- ・一次救命処置
- ・医療処置「注射、点滴、採血、カテーテル、胃瘻、褥瘡ほか」
- ・急変時対応
- ・注射や点滴などの手技
- ・留置針挿入の徹底的に習得する為の研修がやりたい
- ・採血、心電図
- ・点滴、採血、褥瘡処置
- ・採血等のすぐ使う手技
- ・サーフローなど機会の多い処置

●最新の看護ケア・医療技術・医療機器に関する情報

- ・最新の看護理論
- ・呼吸機能の理解や排痰など管理のケア
- ・感染予防。最近の在宅看護対象と看護の実際。
- ・呼吸器のみかた
- ・病棟経験が20年位ない。働いていた頃と状況が全く変化していると思うので、最新を知りたい
- ・スキンケア、褥瘡、医療・介護保険制度など在宅医療について
- ・12誘導心電図
- ・吸引、胃瘻、電子カルテ、点滴ポンプ
- ・分娩介助
- ・心電図のとり方、読み方
- ・点滴、採血、輸液ポンプ、
- ・エビデンスが変わった看護技術
- ・NST判読と母乳関連の講座
- ・看護必要度
- ・保健師業務に関する研修
- ・人工呼吸器の取り扱い
- ・輸液ポンプ、シリンジポンプの扱い方
- ・保健師として働きたいので、そのための研修を希望
- ・産業看護
- ・福祉施設と病院連携における看護師の役割
- ・医療機関以外で働く看護師への研修。例えば高齢者施設、障害者施設。
- ・病院・施設勤務者向けの研修は多くあるが、そこに当てはまらない人たち向け(学校保健・産業保健等)の内容が皆無すぎる。
- ・働きたいと思う場所に沿った内容の研修

- ・最新の看護技術、医療知識
- ・医療機器の取り扱い方、薬剤名称の理解、医療請求に関する看護師の必要な知識
- ・その施設によるが、看護の変化、医療の状況
- ・ゴードン分類
- ・褥瘡、嚥下、機能訓練などについて
- ・保健指導
- ・心電図
- ・褥瘡の治しかた
- ・採血や注射の技術だけでなく、胃ろうや吸引などのケア
- ・内視鏡検査
- ・特定保健指導
- ・最新のケア、褥瘡のレベル別の対処方法だが、病院では無く家庭や施設での日々のケア方法等。
- ・最新の看護用語、最新の看護常識
- ・インスリンポンプの研修
- ・看護用語、技術の復習
- ・産後ケア
- ・メンタルも含めての訪問看護 デイサービス 介護施設に必要な看護技術研修 酸素ボンベ等の取り扱い 基礎も含め、必要とされる技術研修
- ・ここ10年で、禁忌行為になった看護技術や医療行為について
- ・呼吸器管理 心電図
- ・新しい医療器具など、変化したものを聞きたいです。
- ・医療機器の使い方
- ・心電図や急変対応
- ・健診業務
- ・人口呼吸器
- ・エンドオブライフケア
- ・クリニックから病院に転職する場合、病院の仕組みが全然違うので戸惑う。逆もあり。長く勤めていると、その組織内での看護システムしかわからなくなる。専門的な診療をする場所に勤務すると、他が全くわからない。臨床に長くいると、看護の最新の知見、今の大学生が何を学んでいるのか、前と何が違うのか全くわからず、ジェネレーションギャップを埋めるのが難しい。看護全般の学び直しができる研修があったら参加したい。技術はすぐが変わってしまうし、配属場所によって必要ないことが多いので研修は必要ない。臨床で丁寧に教える仕組みがないことが問題だと思う。
- ・現状、医療に従事する人達に必要な情報を伝えて欲しい
- ・内視鏡検査介助など実践で役立つ知識の研修があるといいと思います。
- ・採血実践、ルート確保、バルーン交換、マーゲンチューブ交換、経管栄養
- ・透析看護
- ・胃瘻などの経管栄養の手技や吸引の処置
- ・呼吸器ケア
- ・創傷処置(使用する薬剤)やスキントラブルに対する新しい情報 ・看護師の判断で行える医療行為と法について
- ・基本的なこと。インシュリン注射の注意事項など
- ・看護ができるリハビリ、ADLの向上など

- ・Ba 管理、胃ろう、経管チューブ管理、手首や創処理の最新ケア情報や管理(安全な)方法を学びたい
- ・褥瘡、皮膚、排泄ケア、高齢者のスキンケア など
- ・今はこう違う（看護ケア・治療薬）のエビデンス
- ・点滴や採決のトラブル時の対応について(基本は分かるが現場ではトラブルが付きもの。しかし これについての研修はあまりない)整形外科での身体援助について。★現場のリアルな看護、臨床の感覚に近い研修があったら良い。
- ・最新の看護ケア・医療技術・医療機器に関する情報について研修があるなら参加したいです。
- ・最近の医療技術、医療機器に関してのあつかい方の研修に参加してみたい
- ・最新の医療、薬剤、安全に関する事の情報
- ・ブランクがあった期間に変わった常識を教えてくださいました。創傷のモイスト療法、膀胱訓練はしない方がよいなど。又、施設に勤務していると、これらのことがわからないので合わせて教えてください。
- ・採血、点滴の留置針、電子カルテ入力の方法
- ・ホスピスケア
- ・基礎技術や基礎知識全般、10年20年前の常識が今の非常識になっていること特集のような研修
- ・心電図の読み方
- ・呼吸ケア
- ・人工呼吸器、ハイフローセラピーに関する医療機器の取扱い
- ・ストーマや人工呼吸器などの研修
- ・現場から離れているのでリスクリダクション
- ・最新褥瘡ケア
- ・訪問看護師です。意思決定について。終末期や、死にたいと言う患者さんへのコミュニケーションの取り方。
- ・人工呼吸器
- ・採血、心電図、内視鏡、
- ・看護技術の中でも、以前はこうしていたが、今はこうする的な研修、医療に関する制度の変化について
- ・リンパドレナージ
- ・褥瘡や感染など専門家から指導を受けたい

●治療等に関する医学的知識

- ・小児の皮膚トラブル
- ・成人に関する研修
- ・腎不全
- ・病態の研修、新規の薬剤の研修。
- ・化学療法
- ・硬膜外麻酔に関する研修

●薬剤に関する知識

- ・抗がん剤
- ・麻薬の使い方
- ・薬剤の一般名と商品名の違い

●医療安全に関する知識

- ・感染対策
- ・感染管理
- ・医療安全
- ・リスクマネジメント、
- ・最新の感染対策
- ・養護老人ホームで勤務中。感染対策等の最新情報が知りたい。
- ・感染管理研修
- ・感染について
- ・感染予防対策について
- ・感染
- ・医療安全管理
- ・感染に関する研修
- ・高齢者施設における感染症対応

●電子カルテや IT に関する知識・技術

- ・最近の病棟での電子カルテの入力等使用方法。現場で即戦力になるための必要な知識や技術。
- ・電子カルテ
- ・新しい電子機器操作を覚えたい。
- ・電子カルテの見方や入力方法など
- ・ICT 推進でシステム移行の事例
- ・エクセルやパワーポイントを使いこなすスキルを身につける研修
- ・Excel、ワードなどの IT の基本スキル
- ・電子カルテ等 PC スキル
- ・就業する場所によりますが、ベッド上で診療情報を取りながら直接電子カルテ上に記録していくシステムでバイタルを記録したことがないので、研修などで少し慣れられればありがたいです。
- ・電子カルテ
- ・電子カルテの操作方法
- ・office が使いこなせる最低限の研修
- ・電子カルテ、PC 操作について
- ・電カルなどの操作方法
- ・電子カルテ操作
- ・電子カルテ操作
- ・電子カルテ
- ・電子カルテの取り扱い等
- ・電子カルテ
- ・パソコン
- ・パソコンのスキルを身につけたい
- ・電子カルテや IT に関する知識が私とはぼしいので、そのような研修があったら参加したい。
- ・電子カルテは必要だと思います。
- ・電子カルテ入力等のパソコン関連
- ・電子カルテについて。心電図モニター、輸液ポンプ等医療機器の使い方。

- ・現職場において、紙カルテで、電子カルテのことがわからないので知りたい。

●保健医療福祉制度に関する知識（医療福祉制度・政策の動向、診療報酬制度など）

- ・小児の訪問看護で働いているので、福祉のことや制度等の研修があれば参加したい
- ・身体的な荷重のない健康相談(電話相談など)等の仕事に従事したいので、広い分野の医療支援などについて学習したい。
- ・オンライン診療の今後
- ・産業保健に対する研修
- ・診療所勤務において看護師が知っておくべき保険点数の知識
- ・介護保険と医療保険、難病などの訪問看護の診療報酬制度について
- ・介護保険や医療保険の制度について
- ・保健事業、医療保険政策
- ・診療報酬改定の理由と今後の医療の在り方
- ・在宅や介護保険について
- ・60～65歳以上になると、老健や特養やデイケア募集が主流となる。病院管理職だけの仕事で再就職となると、知識や業務内容のギャップが大きい。その点の研修があると再就職しやすい。
- ・産策分野、メンタルヘルス、傾聴スキル
- ・訪問看護→保険制度(介護保険、医療保険の扱いの違い)、介護度での利用サービス内容
- ・介護制度
- ・介護保険制度
- ・介護保険制度
- ・診療報酬制度

●医療機関・福祉施設での見学実習

- ・他企業の産業保健の交換実習。企業によってやっている業務が異なるので体験してみたい。
- ・老人施設体験
- ・就業前一日体験
- ・研修する施設やスケジュールを増やして欲しいです。(可能であれば)
- ・保育園、障害者、支援学校等を見学したい
- ・病院勤務以外の働き方
- ・就労場所で1日の流れを見学体験したい
- ・復職支援研修

●専門分野に関する知識・技術

- ・健診事業に必要な観察力
- ・保健師業務の研修
- ・吸引や経管などは一般的に病棟には居ましたが、ストマだけは教科書上しか知らず、患者は居なかったので実践したい
- ・重症心身障害児者に特徴的な疾患、病態
- ・産業保健師分野
- ・心電図
- ・グリーフケアなど

- ・医療的ケア児、ご家族への看護。学校看護師のあり方について。
- ・今携わっている業界（障害児）に関する医療知識 特に新しいものについて
- ・医療的ケア児について
- ・泌尿器科分野についての研修、排尿ケアなど
- ・産後ケア、乳房ケア、乳幼児の成長発達及び異常かの早期発見などについて
- ・フットケア ターミナルケア
- ・精神科デイナイト見学、ストマ外来見学
- ・認知症ケア
- ・助産師向けの研修
- ・緩和ケア
- ・皮膚・排泄ケア、フットケア
- ・デイサービス看護
- ・就職希望の職場によって違う
- ・通所介護施設における看護師の役割と必要なスキル
- ・がん検診について
- ・認知症、呼吸リハ、心リハ
- ・精神科看護
- ・障害者施設で医療的環境は整っていません。しかし、そうした施設であっても意識障害、てんかん発作、転倒による急変はあり得るため、病院以外での急変時の対応の研修を希望します。
- ・高齢者の機能訓練について
- ・分娩介助技術のリカレント
- ・在宅リハビリ
- ・ホームやデイサービス等で働きたいと思っているので、介護サービスや老人福祉など。
- ・生殖医療
- ・健診に必要な保健指導
- ・がん看護
- ・難病患者の看護
- ・学校の保健室での看護師の役割について
- ・デイサービスで看護職に求められる緊急判断や、日常的なサービスについてのスキルアップなどの研修があれば、ぜひ参加したいです
- ・産業保健師の研修を増やして欲しい、企業のニーズが高まっています
- ・PEG、CV、皮下注、褥瘡など医療処置や食事介助、体位変換など高齢者などに多く必要とされるもの
- ・介護施設における最新の医療介護技術
- ・医療ケア児の通う児童福祉施設（保育施設など）と病院の連携の実際
- ・訪問看護師に必要な研修
- ・助産技術について
- ・産業保健師としての研修
- ・健康増進
- ・就職する勤務先の形態に合わせた研修（例えば急性期なら急性期について、訪問なら訪問など）がほしいです。
- ・産業保健に関する研修
- ・高齢者デイサービスの見学実習(研修)（経験あり） 吸引、採血、ストマ、インスリン関係、救急対応

や判断、などデイサービスで求められるものの研修を希望します。

- ・看取り看護について
- ・トランス、褥瘡管理
- ・産業保健に関する面談技術や法学系知識（法学部卒なので、職場で法律系のレクチャーをしている）
- ・老人ホームで必要な技術、判断力
- ・在宅人工呼吸器を使用している児のケア
- ・小児科領域
- ・介護施設での看護の在り方
- ・特定保健指導
- ・産業保健について（カウンセリング、保健指導など）
- ・高齢者の皮膚の状態観察と対処法（軟膏や保護用品の選択の仕方）
- ・施設における看護師の業務、知識
- ・老人福祉施設に転職する場合に必要な知識、技術の習得
- ・フットケア ストーマケア 褥瘡ケア
- ・在宅看護ケアの最新情報
- ・緩和ケア、高齢者・認知症についての研修
- ・認知症の方の対応について
- ・脳疾患患者さんに関するアセスメント、看護、在宅
- ・終末期医療やそれに伴う患者、家族支援などについて
- ・ガン治療
- ・緩和ケア
- ・認知症の治療（看護）を知りたいがどのようになっているのか研修を受けたい。だいぶ難しい内容になっていると人から聞いているが・・・？はつきりわかりません。
- ・その部署によるが、循環器科であればカテーテル処置などの手技など専門的な研修。又、病院や施設により電カルの操作方法がちがうため事前に研修があるといい。
- ・助産師として働きたいので、最近の保健指導の情報、地域差などをききたい
- ・認知症について 65歳以下の介護保険、医療保険等について 在宅看護など
- ・発達障害、精神障害に関する研修
- ・排泄(ストーマ)、手術室看護におけるセミナー、NICU看護におけるセミナーetc
- ・特別療養老人ホーム、老人保健施設の規定
- ・在宅での認知症患者の家族へのケア
- ・緩和ケアの色々な症状についての薬剤やあらゆる知識
- ・最新の排便コントロール 褥瘡ケア
- ・緩和ケアの看護
- ・災害看護に関するもの、感染看護に関するもの（いずれも COVID-19 に関連するもの含）
- ・難病(ALS.パーキンソン病)
- ・認知症対応力向上研修 老年看護学会の研修 他
- ・産業保険分野の知識等
- ・リウマチ
- ・心理学
- ・保健師の知識・技術
- ・内視鏡の専門分野を学びたい

- ・在宅での医療的ケア それに付属する医療機器の取り扱い
- ・訪問看護・在宅関連
- ・褥瘡
- ・産褥入院について
- ・最新コロナ研修
- ・訪問看護に関する知識や技術
- ・重症心身障がい児、医療的ケア児への在宅での対応、家族支援等
- ・助産師として復職を希望する場合、即戦力として求められることが多いので、ブランクが長いと助産技術の確認や、最新の産婦人科に関する医療知識や技術を習得できる場があるといい。
- ・認知症の対応について（抑制など）

●その他

- ・同僚の支援、心理的安全性について
- ・患者と医療者のメンタルケア
- ・カウンセリング
- ・ワークライフバランスについて。ブラック病院が多すぎて、有給や育児休業、情報収集という名のサービス残業などの基本がわかっていないと、安心して働けない。
- ・zoomでの研修の充実を希望します。
- ・アセスメント 記録 について
- ・BCPの作り方
- ・看護教員のスキルアップ研修
- ・メンタルヘルス対策や、休業になった場合の手続きなどの研修があったら安心
- ・ガントチャートなど進行の計画と実施について
- ・医療英語講座
- ・医療英語、多文化間看護・ケアみたいなもの（職場が、外国人を対象とすることが多いので）
- ・病院経営・スリム化
- ・新カリキュラムにおける教育の実際
- ・地域連携、病棟外来連携退院支援
- ・実技研修、また子育てと仕事をどのように両立しているか先輩方の経験談を伺える機会。
- ・介護職とのコミュニケーション
- ・3~4時間くらいで3日間くらいのスケジュールだと参加しやすいです
- ・IT操作を用いたチームリーダー業務の適応なスタッフ管理、業務処理能力の向上
- ・多職種や行政との研修
- ・老人施設で働いています。明日、吸引についての研修を有料で個人負担で、休暇も自分の年休で、受講します。こうゆうものを研修して資格をもらえるとありがたいです。
- ・キャリアアップするための企画。ボランティアナースなど
- ・働く現場次第だと思います。
- ・各施設のローカルルールの説明があればよい。
- ・接遇、クレーム対応研修
- ・研修は特に予定なし
- ・全く給料が上がらない、仕事用の物品(マスク、手袋など)が全部ではないけど自腹、故意ではなく物品を破損したり車両事故を起こした際に弁償させられる、職場のゴミ(電池とか)を家庭ゴミとして持ち帰

って捨てろと言われる、など、こういうことはどこに相談したらいいのか、上司に言ってもどうにもならないときはどうしたらいいのかなど。

- ・看護倫理
- ・その施設における看護業務、事務作業のしっかりした引き継ぎ、OJT 研修
- ・新型コロナウイルス感染症等の社会状態に応じて求められる看護について
- ・自宅でできる相談業務があれば嬉しい
- ・退職後、自身の経験を活かすためのアドバイスなど
- ・多様な場でのスペシャリストの活躍に触れられる場、看護の価値を改めて学べる機会（動機づけられることで、就業や自己研鑽への意欲が高まる）
- ・看護記録
- ・次の職場に合わせた知識。…未定なので決められない。
- ・新型コロナウイルスと看護
- ・クレーム対策、自己肯定感の育成、身体ケア(看護師自身)、今の看護管理の最前線
- ・WOL
- ・区分について。病院の経営。看護側のコストの etc.
- ・看護学校の授業を聴講してみたい。最新の知識・技術を教えているはずだと思うので、学生にとっても NS にとっても交流のよい機会になるのでは。主催者側はあまり準備もいないし。
- ・介護施設での介護職員への指導方法
- ・CNS や CN に対するキャリア支援を充実させてほしい。高い認定料・登録料・更新料に見合った働きをしてほしい
- ・社会資源
- ・研修とは違いますが、同じ志を持った他病院のスタッフの方々との交流、意見交換の場が欲しいです
- ・新しい看護師の仕事分野
- ・看護管理
- ・コミュニケーションスキル
- ・病棟と外来。クリニックでの仕事内容の違いを知りたい。どんなところで働きたいかの指針になる。
- ・管理研修
- ・管理について